

# 令和元年度栄養教諭研究大会

令和元年8月28日(水)蒲郡市民会館にて研究大会が開催されました。

## 教育講演会

### 演題「主体的・対話的で深い学びとしての食育」

講師 武庫川女子大学 教育学部 教育学科 准教授 藤本勇二 氏

主体的・対話的で深い学びとしての食育の実践という視点で、授業の発問や教材の提示の仕方を、いくつかの具体例を用い、模擬授業方式で分かりやすく示していただきました。子どものもつ知識や経験から気付かせ、主体性を育むような授業展開の仕方が大変参考になりました。

また、これから学校で食育を進めていくためには、栄養教諭は、カリキュラムを理解して、食育を扱う守備範囲を広げ、学級担任等と連携していく「コーディネート力」をいっそう高めていく必要があることを学びました。



#### <ご講演を拝聴しての感想>

子どもたちのもっている「学びたい・知りたい」という気持ちを引き出し、主体的に考えられるように、発問や資料提示の仕方を工夫することが、深い学びにつながるがよく分かりました。題材選びの守備範囲を広げるためのアンテナを高くし、情報を仕入れるように心がけて、題材の提示の切り口を探っていきたいと思います。

授業の内容や重要性を「理解」しても、「実行」できなければいけないということをお聞きし、その通りだと思いました。授業の中で、子どもが「どうしたらいいか」と自分事として考え、友だちと対話的に「〇〇したらいいじゃん」とアドバイスし合えるようにすることで、「これならできるかも」「やってみようかな」と心を動かし実行に移せるように促していくことが大切だと思いました。子どもが抱えている疑問や問題に寄り添った指導を行っていきたいです。そのためにも、自分自身が主体的に学ぶ姿勢をもち、視野を広げ、食に関するさまざまな引き出しを増やすことを忘れないようにしながら、担任の先生方との連携を図っていきたいです。

## 展示・ポスターセッション

研究発表した中島地区、豊田みよし地区と豊橋市の食育の取組や教材の紹介、本協議会が平成30年度に作成したCD教材「あいちを食べよう」等の展示がホールのラウンジで行われました。熱心に展示物を見学し、興味深く質疑応答している会員の姿が見られ、会員相互の交流や学び合いの場となりました。



